

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管		局	危機管理室	部	危機管理	課
項目	2-2	避難者による避難所の自主運営の推進				
実施内容	災害時には避難者（地域住民等）が主体となって避難所を運営できるよう自主防災組織等による避難所運営訓練を推進し、行政と避難者（地域住民等）が連携した避難所運営体制を構築します。					
目標	平成26年度～平成29年度 避難所運営訓練等の推進 平成29年度 避難者（地域住民等）と連携した避難所運営の実施 (平成27年度追記)					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		自主防災組織等が実施する訓練などで避難所運営に関する訓練を推進し、先進事例をPRするなど、避難所運営に対する関心を高める。	自主防災組織等の避難所運営訓練を継続して支援し、避難者（地域住民等）の避難所運営能力の向上を図るとともに、課題の抽出、改善に努める。	自主防災組織等の避難所運営訓練等と連携し、行政の役割について検討する。	より良い避難所のあり方について訓練、検討を重ね、行政と避難者（地域住民等）が連携した避難所運営を実施する。	
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		「堺市避難所運営ガイドライン」の策定(平成26年度～平成27年度)	区役所や校区単位による住民参加型の避難所運営をテーマにした訓練の実施(4月～3月) ● 毎年度1回の防災フォーラム又は講演会の実施 ● 「堺市防災総合訓練」における避難所運営訓練の実施	自主防災組織避難所運営等アドバイザー事業(平成27年度～平成29年度)	校区版避難所運営マニュアルの策定(平成27年度～平成29年度)	
数値目標	-	見込	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績	-	-	-	-
実績	27年度	堺市避難所運営ガイドラインとなる避難所運営マニュアルの改定 自主防災組織避難所運営アドバイザー事業において、モデル10校区での避難所運営訓練の実施 モデル10校区でのワークショップや訓練の結果を受け、モデル10校区版避難所運営マニュアル・校区カルテを策定、同マニュアル・カルテひながたを作成				
単年度の 効果額見込 及び実績	見込 実績	26年度	27年度	28年度	29年度	
		-	-	-	-	-
評価 27年度	B	課題	・ 自主防災組織の組織力や取組状況が異なっている。 ・ 地域ごとの特性を踏まえ校区避難所運営マニュアルなどを策定する必要がある。			
		改善策	モデル10校区の校区避難所運営マニュアル・校区カルテを策定。モデル10校区以外に校区避難所運営マニュアル・校区カルテのひな形を配布し、地域の特性を考慮し実情に沿った「校区版避難所運営マニュアル」の策定を促す。			
評価基準		A:目標を上回って達成 B:目標を概ね達成 C:未達成				
備考						